



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 平和

コード番号 6412 URL <https://www.heiwanet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶺井 勝也

上席執行役員管理本部副本

問合せ先責任者 (役職名) 部長 兼 経営企画グループゼネラルマネージャー (氏名) 高木 幹悦 TEL 03-3839-0701

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無： 有

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	70,249	97.4	15,353	77.4	13,371	53.2	8,180	45.3
2025年3月期第1四半期	35,586	1.8	8,654	15.5	8,725	17.3	5,628	13.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 8,275百万円 (50.7%) 2025年3月期第1四半期 5,490百万円 (6.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	82.94	—
2025年3月期第1四半期	57.07	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	1,051,942	248,633	23.6	2,518.98
2025年3月期	1,051,598	244,315	23.2	2,475.16

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 248,439百万円 2025年3月期 244,118百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	295,900	102.9	58,000	109.5	47,800	124.1	23,100	76.8	234.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社グループは、業績管理を年次で行っていることから、通期連結業績予想のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 有

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	99,809,060株	2025年3月期	99,809,060株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,182,014株	2025年3月期	1,181,890株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	98,627,119株	2025年3月期1Q	98,627,470株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 決算補足説明資料は当決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載します。

(その他特記事項)

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績には、前第4四半期連結累計期間においてPJG Investments株式会社(現 株式会社アコーディア・ゴルフホールディングス)の全株式を取得したことにより、同社とその連結子会社17社の業績を反映しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

ゴルフ業界では、4月上旬の低温、5月の週末を中心とした天候不順、6月中旬以降の急激な気温の上昇等の影響により、比較的厳しい市場環境となりました。また、団塊世代の後期高齢化により多くの課題が顕在化する

「2025年問題」に直面しつつあり、ゴルフ人口の減少や人手不足等、業界全体に影響を及ぼす可能性が懸念されております。この局面を乗り越え、ゴルフ業界の持続的な発展を実現するためには、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進、インバウンド需要の取り込み、新たな顧客層へのアプローチなど、将来を見据えた施策を中長期的な視点で着実に講じていくことが必要不可欠となります。

遊技機業界では、パチスロ機はスマートパチスロの普及が着実に進み、高い稼働実績を示すヒット機種が継続的に市場に登場し、市場環境は好調に推移しております。また、新しいゲーム性である「ボーナストリガー」を搭載したパチスロ機の販売が開始され、さらなる市場の活性化が期待されております。一方で、パチンコ機は新しいゲーム性である「ラッキートリガー」を搭載したパチンコ機の販売が進み、高稼働を継続するヒット機種が登場しているものの、全体的な稼働はやや低調に推移しております。

このような経営環境下、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高70,249百万円（前年同期比97.4%増）、営業利益15,353百万円（前年同期比77.4%増）、経常利益13,371百万円（前年同期比53.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8,180百万円（前年同期比45.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (ゴルフ事業)

ゴルフ事業は、適正な価格施策によるレベニューマネジメントの強化やインバウンド需要の取り込み、女性・若年層ゴルファーの獲得、グループシナジーの創出など、収益の最大化に向けた取り組みを推進いたしました。また、「Night Golf」営業の拡充や、「Cool Cart」（送風機付ゴルフカート）の導入台数の拡大など、多様化するニーズへの対応や猛暑対策を目的とした施策により、競合他社との差別化を一層強化いたしました。さらに、2025年4月にPGMホテルリゾート沖縄の現地開業準備室を設置し、2026年のオープンに向けた準備を着々と進めております。

売上高及び利益面につきましては、前期に取得したアコーディア・ゴルフの業績を反映したこと、来場者数・顧客単価が堅調に推移したことにより、前年同期比で増収、増益となりました。

以上の結果、売上高61,835百万円（前年同期比129.2%増）、営業利益14,736百万円（前年同期比108.1%増）となりました。

#### (遊技機事業)

遊技機事業は、パチンコ機は「e範馬刃牙」等を発売し、販売台数6千台（前年同期比4千台減）、パチスロ機は「L麻雀物語」、「L ToLOVEるダークネス TRANCE ver. 8.7」等を発売し、販売台数12千台（前年同期比3千台増）となりました。

売上高及び利益面につきましては、パチスロ機の販売が増加したものの、パチンコ機の販売が減少したため、前年同期比で減収、減益となりました。

以上の結果、売上高8,413百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益1,384百万円（前年同期比39.1%減）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ343百万円増加し、1,051,942百万円となりました。有価証券（投資有価証券含む）が7,648百万円、有形固定資産は「PGMホテルリゾート沖縄」の建設工事の進捗等により5,685百万円増加する一方、現金及び預金が10,445百万円、のれんが3,359百万円減少しております。

#### (負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ3,974百万円減少し、803,309百万円となりました。長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が3,225百万円、電子記録債務が1,279百万円増加する一方、未払法人税等が7,580百万円、支払手形及び買掛金が1,391百万円減少しております。

#### (純資産の部)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の組み入れにより利益剰余金が8,180百万円増加する一方、剰余金の配当により利益剰余金が3,945百万円減少したこと等により、前連結会計年度末より4,317百万円増加し、248,633百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の23.2%から23.6%となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表した連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	77,799	67,353
受取手形及び売掛金	12,561	12,322
電子記録債権	799	765
有価証券	14,448	21,984
商品及び製品	3,758	3,293
原材料及び貯蔵品	15,949	16,531
その他	12,550	14,049
貸倒引当金	△59	△59
流動資産合計	137,807	136,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	118,709	118,935
コース勘定	302,680	302,918
土地	151,092	151,094
その他（純額）	43,039	48,257
有形固定資産合計	615,521	621,207
無形固定資産		
のれん	266,252	262,893
その他	4,874	4,790
無形固定資産合計	271,126	267,684
投資その他の資産		
投資有価証券	8,520	8,632
その他	18,842	18,221
貸倒引当金	△220	△44
投資その他の資産合計	27,142	26,810
固定資産合計	913,790	915,701
資産合計	1,051,598	1,051,942
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,842	4,450
電子記録債務	2,641	3,921
1年内返済予定の長期借入金	44,433	44,130
未払法人税等	11,145	3,564
引当金	3,685	3,670
その他	43,662	42,893
流動負債合計	111,411	102,631
固定負債		
長期借入金	583,992	587,520
退職給付に係る負債	5,425	5,401
その他	106,454	107,754
固定負債合計	695,872	700,677
負債合計	807,283	803,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	54,864	54,864
利益剰余金	173,612	177,848
自己株式	△1,357	△1,357
株主資本合計	243,874	248,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291	375
退職給付に係る調整累計額	△47	△45
その他の包括利益累計額合計	243	329
非支配株主持分	197	193
純資産合計	244,315	248,633
負債純資産合計	1,051,598	1,051,942

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	35,586	70,249
売上原価	21,759	43,549
売上総利益	13,827	26,699
販売費及び一般管理費	5,173	11,346
営業利益	8,654	15,353
営業外収益		
受取利息	17	58
受取配当金	29	109
受取賃貸料	17	86
受取保険金	121	18
売電収入	35	49
固定資産売却益	70	40
その他	44	117
営業外収益合計	336	479
営業外費用		
支払利息	133	2,290
支払手数料	13	10
固定資産除却損	12	43
災害損失引当金繰入額	71	11
その他	32	106
営業外費用合計	264	2,461
経常利益	8,725	13,371
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益	8,725	13,371
法人税等	3,097	5,182
四半期純利益	5,628	8,189
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,628	8,180
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△141	84
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	△138	86
四半期包括利益	5,490	8,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,490	8,266
非支配株主に係る四半期包括利益	—	8

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,725	13,371
減価償却費	2,180	4,452
のれん償却額	97	3,359
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△176
賞与引当金の増減額(△は減少)	△661	216
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	0	△20
受取利息及び受取配当金	△46	△167
支払利息	133	2,290
為替差損益(△は益)	△0	0
固定資産売却損益(△は益)	△70	△40
固定資産除却損	12	43
前渡金の増減額(△は増加)	128	△110
未収消費税等の増減額(△は増加)	△7	35
売上債権の増減額(△は増加)	767	443
棚卸資産の増減額(△は増加)	△828	△116
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,312	△568
未払金の増減額(△は減少)	△897	△2,902
未払消費税等の増減額(△は減少)	639	1,962
前受金の増減額(△は減少)	△1,251	△2,064
その他	△245	△386
小計	6,370	19,621
利息及び配当金の受取額	48	168
利息の支払額	△121	△1,623
法人税等の支払額	△5,688	△11,784
営業活動によるキャッシュ・フロー	608	6,382
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,000	△17,880
定期預金の払戻による収入	1,880	6,380
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△15,498	△8,498
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	15,497	8,497
有形固定資産の取得による支出	△5,616	△7,804
有形固定資産の売却による収入	70	40
無形固定資産の取得による支出	△28	△77
その他	22	△155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,672	△19,498
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	4,995
長期借入金の返済による支出	△1,494	△1,774
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△141	△758
配当金の支払額	△3,778	△3,803
その他	△7	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,422	△1,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,485	△14,470
現金及び現金同等物の期首残高	39,874	74,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,389	60,237



## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(棚卸資産の評価方法の変更)

一部の連結子会社では、商品の評価方法について、従来、主として先入先出法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、主として総平均法に変更いたしました。この評価方法の変更は、管理システムの整備を契機として、より迅速かつ適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じる方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	遊技機事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	24,468	8,608	33,077	—	33,077
一定の期間にわたり移転される財	2,509	—	2,509	—	2,509
顧客との契約から生じる収益	26,977	8,608	35,586	—	35,586
外部顧客への売上高	26,977	8,608	35,586	—	35,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	26,978	8,608	35,587	△0	35,586
セグメント利益	7,082	2,272	9,354	△700	8,654

(注) 1. セグメント利益の調整額△700百万円には、セグメント間取引消去3百万円及び配賦不能営業費用△704百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	遊技機事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	57,636	8,413	66,050	—	66,050
一定の期間にわたり移転される財	4,199	—	4,199	—	4,199
顧客との契約から生じる収益	61,835	8,413	70,249	—	70,249
外部顧客への売上高	61,835	8,413	70,249	—	70,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	△0	—
計	61,836	8,413	70,250	△0	70,249
セグメント利益	14,736	1,384	16,120	△766	15,353

(注) 1. セグメント利益の調整額△766百万円には、セグメント間取引消去6百万円及び配賦不能営業費用△773百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。